

## 当院をご利用いただく患者の皆様へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	本邦の常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)患者における脳動脈瘤の発症とスクリーニングの実態調査
研究責任者	福島労災病院 内科(腎臓内科) 草野裕樹 研究代表者：北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科 西尾妙織医師
本研究の目的	常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)は大小さまざまな腎嚢胞が多発、増大して腎機能の低下をきたす疾患であり、腎以外に脳動脈瘤の合併症が知られています。ADPKDに伴う脳動脈瘤は一般より2-7倍発症頻度が高く、脳動脈瘤破裂による脳出血は生命予後に大きく影響する重篤な合併症となります。 本研究は、難治性疾患政策研究事業として本邦のADPKDにおける脳動脈瘤の発症とスクリーニングの実態を調査し、今後の診療活動に役立てる目的で進められます。
調査データ該当期間	2015年4月1日から2021年6月30日までの診療情報を調査対象とします。 (※研究全体の実施予定期間ではなく、研究として収集する調査データの期間です。研究実施期間は2023年3月31日までとなります。)
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる方 2015年4月1日から2021年6月30日までの期間に当院へ通院、または入院されたADPKDの患者様。 ※2015年4月時点で20歳以上の患者様に限ります。 ●利用する情報 ①脳動脈瘤の有病率、②脳動脈瘤の破裂の有無、③脳動脈瘤MRAスクリーニング検査の頻度及び結果、④脳動脈瘤に対する治療の有無、⑤脳動脈瘤に対する治療内容 上記の解析のために必要な診療情報を収集して調査協力いたします。 調査研究のため特別な検査や治療はありません。
個人情報の取り扱い	研究に利用する患者様の情報に関して、お名前、住所など個人を特定できる情報は削除して取り扱われ、管理されます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる情報は削除して利用されます。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は公的資金(厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業「難治性腎疾患に関する臨床研究」)で賄われ、開示する利益相反はありません。
お問い合わせ先	担当者：福島労災病院 内科(腎臓内科) 草野裕樹 TEL 0246-26-1111 FAX 0246-26-8050